

平成18年9月5日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

「団塊世代のリタイアメント白書」の作成について

三菱UFJ信託銀行株式会社(取締役社長 上原治也)は、日本における団塊世代を中心としたリタイアメント層(退職者層)を取り巻く環境変化や、そのための対策などについてまとめた「団塊世代のリタイアメント白書」をフィデリティ投信株式会社(取締役兼代表執行役社長 トーマス・バルク)と共同で作成いたします。

三菱UFJ信託銀行とフィデリティ投信がそれぞれ行ったリサーチ結果からは、2007年から一挙に増大する団塊世代のリタイアメント層は、退職後のセカンドライフに対して、金利上昇、年金不安、医療・介護費用増大などの漠然とした不安感を抱いていることが分かりました。

このため「団塊世代のリタイアメント白書」は、日本でリタイアメント層向けビジネスに強みを持つ三菱UFJ信託銀行と、米国において早くからリタイアメント層向けビジネスを展開するフィデリティの両社によって、団塊世代のリタイアメント層が抱く不安感や当該世代を取り巻くリスクなどに対して、“どのような対策が考えられるのか”、という解決の方向性を指南することを目的に作成いたします。

三菱UFJ信託銀行は、団塊世代のリタイアメント層の充実したセカンドライフ実現に向け、今後も社内・社外のネットワークを活用し、信託銀行の専門性を発揮した高度な商品・サービスをご提供してまいります。

以上

【概要】

- タイトル : 「団塊世代のリタイアメント白書」
(目次につきましては、別紙をご参照下さい)
- 編集者 : 三菱UFJ信託銀行リタイアメント・マーケット研究会
- 配布開始日 : 平成18年10月2日(月)
- 配布場所 : 国内全店舗

【「団塊世代のリタイアメント白書」目次】

はじめに ～あなたは退職後の生活についてイメージをもっていますか～
第1章 60歳になると何が起こるのか ～退職を迎えるという“事実”と待ち受ける“現実”は (1) 団塊世代の大量退職 ～資産運用を真剣に考えるときに訪れている (2) 退職後の人生はまだまだ長い ～世界の長寿国日本 (3) 増加の一途をたどる国民医療費 ～自助努力の必要性が高まる医療費の問題 (4) いつ必要になるかわからない介護 ～切実さ増す介護問題 (5) 年金収入だけではない ～退職後の収入源の確保は (6) 退職後の6つのリスク ～リスクを把握できればマネープランも見えてくる ① 長生きリスク ② インフレリスク ③ 医療・介護のリスク ④ 資産の偏りリスク ⑤ 過度な引き出しリスク ⑥ 相続対策を講じていないリスク
第2章 セカンドライフのマネープランを考える ～いかに退職後のマネープランを立てるか (1) 退職金の受け取り方と活用を考えるにあたって ～退職金をとりまく日本の税制はどうなっているか ① 退職金を一時金で受け取るか、年金形式で受け取るかの選択にあたって (2) 自分の「数字」を知る ～退職後にいくら必要なのか ① 退職後の生活資金としていくら確保すべきか (3) 資産の上手な運用方法 ～適正な資産配分を実現する ① 引き出し率によって変わる資産の存続年数
第3章 団塊世代とその親世代の資産承継について ～自分と親の資産の管理・承継のために備える (1) スムーズな相続について考える (2) 法定相続割合どおりには分けられない (3) 生前の贈与という方法は
第4章 セカンドライフの“住まい”を考える (1) 自宅の住み替えのためのチェックポイント (2) 自宅のリフォームと二世帯住宅について
おわりに ～今、まず何から手を付けていくべきか～